

第16回  
ロサンゼルス日本映画祭  
招待作品

最期まで自宅で過ごしたい。  
痛くない死に方がしたい。

25000人を看取った尼崎の  
町医者に迫ったドキュメンタリー映画

人生いろいろ、  
医者もいろいろ

「痛くない死に方」「痛い在宅医」の長尾和宏の日常に迫る。

# けったいな 町医者

ナレーション：柄本佑

製作：人見剛史／内機朗／小林未生和  
エグゼクティブプロデューサー：鈴木祐介／見留多佳城  
企画：小林良二 企画協力：小宮亜里 プロデューサー：神崎良／角田陵  
監督・撮影・編集：毛利安孝 制作会社：Gカンパニー 配給・宣伝：渋谷プロダクション  
2020/JAPAN/stereo/DCP/116min

# 家が病室で、 町が病棟や、 尼崎の町医者 の日常を記録した 下キョメンタリー映画。

病とではなく  
人間と向き合う  
医者がある。



## 皆さんは、「町医者」「在宅医療」という言葉に どんなイメージをお持ちだろうか？

白衣を着て、美人の看護師を連れて、大きなカバンを持って、  
なんだか威張っている。

……そんなイメージをちゃぶ台返ししてしまう町医者が、  
尼崎にいた。好きな物を食べたい。最期まで自宅で過ごしたい。  
痛くない死に方がしたい。そんな患者さんと、家族の想いを  
守るために町医者は今日も全力で走る。怒る。泣く。歌う。看取る。  
下町を舞台に、生と死を見つめる問題作。本作と同時公開する  
映画「痛くない死に方」で長尾和宏が  
モデルの長野浩平役を奥田瑛二が演じた。  
2021年2月に公開した本作ですが多くの  
再上映を望む声に押されてアンコール上映  
することが決まった。今回の上映は通常盤に  
合わせてバリアフリー版の上映も行います。

たった2か月であったが、ずっと長尾先生  
の後を懸命に追いかけた日々だった。  
そこで確信できたことは、尼崎というバイ  
タリティーに溢れる町と人が長尾和宏と  
いう「けったいな町医者」を求め、作り出  
したということだった。この町では「病」以  
上に「人」と向き合わなければ医者として  
確実にボロが出る。この撮影を経て、今ま  
で以上に人間が好きになった。  
そして今この瞬間も、胸ポケットに携帯電  
話を忍ばせて長尾和宏は患者たちとまっ  
すぐにつながっている。

—— 監督・毛利安孝

けったいな医者やなあ。この作品を観て、  
一番僕がそう思いました  
町医者という言葉を嫌う在宅医がいま  
す。大病院の医者より下に見られる差別  
用語だと。でも僕は「町医者」にこだわ  
りたい。その理由はこの作品を観てくだ  
さい。僕をこんな町医者に育ててくれた患  
者さんすべてに、感謝を込めて。

—— 長尾和宏



在宅医療と尊厳死を真正面から描いた問題作

## 映画「痛くない死に方」全国順次上映中

原作：長尾和宏 監督・脚本：高橋伴明 出演：柄本佑 坂井真紀 余貴美子 大谷直子 宇崎童童 奥田瑛二

関西地方  
アンコール上映決定

※バリアフリー上映(日本語字幕)の上映は劇場HPをご確認ください

12月10日(金)～

なんばパークスシネマ

050 (6864) 7125

12月10日(金)～

神戸国際松竹

078 (230) 3580

12月10日(金)～

京都シネマ

075 (353) 4723